

おじさんがタピるのはダメ？

チン・イクイ

こんにちは 台湾から来ましたチンイクイです。

皆さんはタピオカの店の前で行列をするおじさんたちをおかしいと思いますか。

なぜ、ある一定の年齢になると何を考え、何をすべきか、誰もが示し合せたように固定的な年齢観を持っているのか、疑問に思ったことはありますか。私は疑問があります。大人になってから、明らかな年齢に対する偏見を感じていました。未成年のうち、ストレスやお金について理解できる年齢ではないと思われています。でも、大人になれば理解できると思われているのです。子どもと大人に対する扱いがあまりに対照的なので、私が大人だと思われているからこういうことを言われているのではなく、私が年齢的に大人になったから言われているのだ、と思うようになりました。そこで今日お話ししたいのは、年齢に対する認識のおかしさです。

この社会では、「女は料理ができるのが当たり前」「男は簡単に涙を流してはいけない」「その年齢にふさわしい行動しかしてはいけない、そうしないと注目される」という固定観念のような年齢に対する認識があるのだと思います。

年齢的に幼い時は、何をしても大抵(たいてい)のことは許されます。一方で、大人と深い議論をしたり、出会った物事に対して自分の意見を述べようとすると、子供だ、と本気にされることはありません。大人になったり、大学を卒業したりすると、周りからの評価が急に子供から大人に変わり、今まで経験したことのない、巨大なプレッシャーを受けなくてはなりません。まるで、ソフトウェアが一定期間後にアップデートされ、自動的に大人用のバージョンになるかのようで、当人にとってはあまり変わりません。

私自身が年齢による偏見を受けて、社会には年齢による固定観念が非常に多く、気づかないうちに存在していることを感じました。その代表的な歳が「おじさん」の歳であることです。おじさんの年齢になり、社会的な偏見が薄れるどころか、社会に出た頃よりも増えてくるんです。突然タピオカを飲みたくなり店の前で行列をする、カラオケに行って歌いたくなる。若い人みたいなことをやりたいと思ったとき。周りから奇妙な目で見られ、ネットで罵倒されることもあります。その年齢でこんなことをするのはおかしいと思われま。

今の時代、多くの固定観念が訂正されていますが、年齢という固定観念は言及(げんきゅう)されず、誰もが「この年齢になったらこうあるべき」という強い示し合せを持ったままです。

最初の質問に戻ります。中高年の人たちがタピオカの店の前で行列するのを見ると、不思議な感じがしますか。

最後まで ご清聴ありがとうございました